



プレス発表資料

平成 27 年 12 月 10 日
国立大学法人神戸大学
阪神高速道路株式会社

国立大学法人神戸大学と阪神高速道路株式会社が連携協定を締結

地震や津波、集中豪雨などの災害に対する防災・減災研究を推進し、地域密着型の防災・減災連携拠点として社会貢献する神戸大学（学長 武田 廣）と、関西の大動脈であり、くらしと経済の発展に欠かすことのできない基盤施設を維持、管理している阪神高速道路（代表取締役社長 山澤 俱和）は、相互に連携・協力し、地域の安全と安心に貢献し、地域社会の形成、発展に寄与することを目的として、協定を締結します。

1. 内容：別紙資料による

◆協定書調印式◆

○ 日時 平成 27 年 12 月 15 日（火） 15:30～16:00

○ 場所 神戸大学 連携創造本部 4 階 会議室

（神戸市灘区六甲台町 1-1）

○ 出席者 神戸大学長 武田 廣
阪神高速道路 代表取締役社長 山澤 俱和

ほか関係者

○ 当日の取材が可能です。

国立大学法人神戸大学と阪神高速道路株式会社が連携協定を締結

◆協定締結の目的◆

国立大学法人神戸大学と阪神高速道路株式会社とは、平成27年12月15日、これまで長年にわたって培ってきた信頼関係を基盤に、より緊密かつ組織的な連携・協力の推進・強化により、双方向のコミュニケーションを可能とする地域密着型の防災・減災連携拠点を形成し、地域社会へ積極的に貢献することを目的に連携協定を締結します。

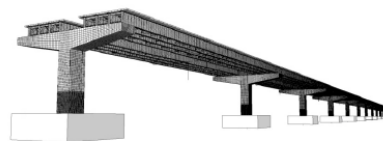
協定は地震や津波などの災害に対する地域協働型の防災・減災等に関する共同研究を推進し、人材交流、学術交流などの研究協力、人材育成などで相互に連携・協力し、地域における防災機能の向上及び社会の持続的発展に寄与しようとするものです。

神戸大学と阪神高速株との連携に関する協定



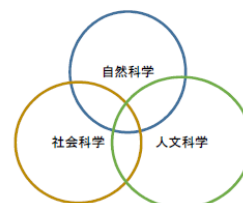
◎ 先進的研究活動の実施

- 南海トラフ地震を想定した被災度の推定
- 甚大化する風水害による影響の把握
 - 京コンピュータ、数値震動台といった最新の解析技術の活用



◎ 技術的(人的)支援

- 構造物等の専門家のみならず
- 防災減災に関する様々な専門家の交流の場を提供
- 総合的な観点での防災減災に関する知見の共有



◎ 社会貢献

- 耐震性能評価技術等の地域の安全性に貢献できる技術の共有
- 災害時の情報共有の綿密化による震後活動の円滑化